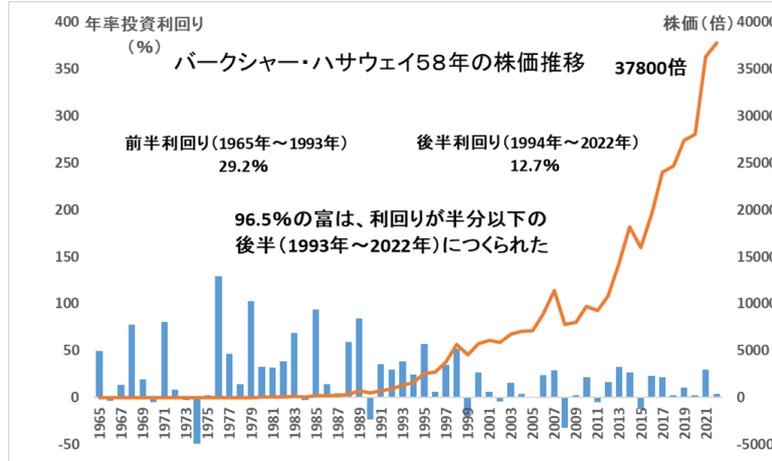


ATTENTION

複利効果を感じよう！-これが資産を築く秘訣



このグラフはウォーレン・バフェット率いるバークシャー・ハサウェイの株価と利回りを示しています。1965年からの2022年の期間の年率利回りは19.8%。S&P500の9.9%を2倍上回っています。これは驚異的な数字です。しかしここでは、それを強調することが目的ではありません。長く持ち続けることの驚異的パワーを示そうとします。このグラフの前半の利回りは実に29.8%となっています。そして後半は、それが続くのは難しく、半分に満たない12.7%に落ちました。しかし、実にオレンジの線が示すように、その後半にまさにうなぎ上り！ぐんぐん上がり、2022年には当初株価の37800倍。初めに10000ドル投資していたら、3億7800万ドルになっているのです。そしてそのうちの96.5%、3億6500万ドルは利回りが半分の後半に作られたのです。これがまさに「複利効果」。この後半の1994年から始めても28.7倍。10000ドルは287000ドルにしかありません。この「複利効果」は時間が経たないと実感できないので、ほとんどの人が感じることはありません。数字で表すとこうなります。1000万円が10%上がると100万円増える。1000万円が5000万円になり、10%増えると500万円増える。1億円になり10%増えると1000万円増える。今年から始まった新NISAは非課税が無期限。時間軸は、このバークシャー株価の時間軸に匹敵します。この複利効果が十分に出る運用をすると、人生も変わります。私ども、びとふファイナンシャルサービスにぜひご相談ください。

COLUMN

もっといい人間になるために

もっと寛容な人物になりたい、もっと親切に人に接したい、もっと配慮に富んだ人間になりたい、もっと謙虚でいたいといっても、質的な面なので、どうしたらそうなれるか、なかなかその方法がわからないことは誰にもあります。そして、そう思いながら、人生も終わりに近づくというわけです。では、どうしたらよいか。そのあたりがわかるよい書物 (How to Set Achievable Goals by Pamela Hobart) がありましたので、紹介しましょう。

一言で言うと、そうなりたいと考えることを、小さな行動で積み重ねるということです。それぞれの行動でどれだけ進歩したかはわかりにくいのですが、少しずつでも続けていくということです。もっと寛大になりたかったら、たとえば災害にあった地域に寄付をする、目の不自由な人に介添えをする、道に迷っている人に案内をする。こういった行為の積み重ねが、「寛大という筋肉を発達させる」のです。いわば、小さな行為の繰り返しが大事ということです。

人間は、どうしても失敗による否定的なバイアスが、成功による肯定的バイアスより大きいので、人間的に進歩したということを過小に評価しがちです。したがって、小さな進歩を実感として感じるように心掛けると、脳は、わくわくさせるドーパミンを発して、さらに進歩しようとするエネルギーを出すのです。ですから、小さな手ごたえを味わうことが大事というわけです。何の手ごたえもなく、努力を続けるのは大変ですが、こんな形で小さな進歩を実感すれば、さらに続けられ、進歩の果実が大きくなっていくということです。

MARKET

(1月末)	(12月末比)
日経平均 36,286.71円	2,822.54円 (+8.43%)
NYダウ 38,150.30ドル	+460.76ドル (+1.22%)
米ドル 146.95円	5.90円 (+4.18%)

私の書棚より

早くお金持ちになろうとするのは危険だ。私自身はゆっくり金持ちになった。そしてそれはむしろ心地よいプロセスだった。

チャーリー・マンガー
昨年11月に99歳で亡くなったウォーレン・バフェットの盟友

政治も民間も腐食が進む日本、これが国の衰退を招く

あきれた自民党の裏金スキャンダル

自民党の派閥の政治資金不正問題が起きたときには、またかとおきれたものでしたが、その後の顛末もお粗末そのものです。安倍派の「5人衆」は不起訴となり、記者会見で「会計責任者がやったことで、自分は知らなかった」とシャーシャーというのですから、あきれます。これで頼かむりして、ほとぼりが冷めるまでじっとしているということでしょう。リクルート事件を受けた1989年の自民党政治改革大綱で、党幹部は派閥を離脱することを宣言しているのに、それは35間有名無実になっていたのです。小淵優子自民党選挙対策委員長も、ずっと党幹部が派閥の領袖なのにはおかしいと思っていたと、茂木派を離脱しました。そういう本人も、過去に政治資金問題で、説明責任をはさないまま、いまに至っています。国民が、長年こういう政治に付き合わされるのは、いい加減にしてほしいです。悪貨にむしばまれ、自分の人格にまで影響してきそうです。

民間も不正が止まらない

一方で、民間でも不正が止まりません。その不祥事は、いまや海外にまで飛び火し、英国でシステムの不具合であったにもかかわらず、システム上の残高と実際の金額が合わず、ポストオフィスの局長が不正流用したとされ、賠償を迫られたり、自殺に追い込まれたりという事件が発生しています。そのシステムの不具合を、開発した富士通がどうも知っていたようなのです。不具合を知りながら、事態を成行に任せ、悲劇を目の当たりにしながら、知らんふりをしていたという疑惑です。おそろしいことです。

日本は罰則が軽い

日野自動車、ビッグモーター、損保ジャパン、ダイハツ、豊田自動織機と、このところ延々と企業の不正事件が続いていますが、日本の競争力の低下は、こういった不正が続いてしまう土壌にあるといえます。罰則が軽い、官と民の馴れ合いを感じます。ダイハツの不正が発覚してから、全車種の出荷停止となりましたが、一か月ちょっとで主力車種の出荷再開となり、いわば普段通りに戻ったということです。この罰則の緩さには、歯がゆさを感じます。フォルクスワーゲンが、燃費不正事件を起こしたとき、米国は兆円単位の罰金を科しています。これで、フォルクスワーゲンはEVに全面的に舵を切ったわけです。

国民は政治や企業の不正にきびしく臨むべき

また、日本の車検制度は連綿と続いています。アメリカでは車検がない州の方がほとんどです。昔から続く規制を、柔軟に緩和していくという姿勢も政府には必要です。官と民の馴れ合い、お上を見た経営、がんじがらめの規制。こういった問題も、企業の不祥事の背景にあるような気がしてなりません。製品やサービスを使う我々にとって、こういった問題は全く他人事ではありません。たとえば「不買」というような手段で、厳しく立ち向かうことも必要です。自動車メーカーのどこもかしこもなってくると、車が買えなくなってくるという状況にもなりかねませんが、我々は、「国民、消費者が最終決定権者」という意識で、こういった不祥事に対処すべきです。そして政治家には、不正を行った候補者には投票しないということです。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いのない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観のもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者 (RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp